

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

<b>事業名</b>	試行雇用奨励金(季節労働者)		<b>担当部局</b>	職業安定局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成19年度		<b>担当課室</b>	地域雇用対策室		地域雇用対策室長 宮本悦子		
<b>会計区分</b>	労働保険特別会計雇用勘定		<b>施策名</b>	II-1-2 地域、中小企業、産業の特性に応じ、雇用の創出や失業の防止を図る				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	雇用保険法第62条第1項第5号、雇用保険法施行規則第110条の3		<b>関係する計画、通知等</b>	「雇用保険法等の一部を改正する法律の施行等に伴う関係省令等の改正について」(平成19年4月23日付け職発第0423002号)				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	北海道、東北地方等気象条件の厳しい積雪寒冷地において、季節労働者に対し、一定期間試行雇用(トライアル雇用)することにより、その適性や業務遂行可能性を見極め、求職者及び求人者の相互理解を促進すること等を通じて、これらの者の早期就職の実現や雇用機会の創出を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	北海道、東北地方等気象条件の厳しい積雪寒冷地(13道県)において、季節労働者を3か月以内の期間を定めて試行雇用(トライアル雇用)を実施した事業主に対して奨励金(月額4万円)を支給する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	24	12	6.0	2.4	2.4	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	24	12	6.0	2.4	2.4		
	執行額	1.5	0.6	0.2				
執行率(%)	6.3	5.0	3.3					
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	常用雇用移行率			%	86.7	100.0	100.0	75.0
			達成度	%	133.4	133.3	133.3	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	トライアル開始者数			人	17 (200)	4 (100)	14 (50)	— (20)
	単位当たり コスト		算出根拠	執行額/トライアル支給人数 =240,000円/2人				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	雇用安定等給付金	2.4	2.4	-				
	計	2.4	2.4					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	求職者(季節労働者)及び求人者の相互理解を促進すること等を通じ、求職者の早期就職の実現、雇用機会の創出を図り、季節労働者の通年雇用化を促進する事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	対象者は短期特例被保険者及び短期特例一時金受給資格者であり、雇用保険制度を運用している国(労働局)において実施することが効率的である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	制度の周知不足によるもの。
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	トライアル雇用実施事業主に対し奨励金を支給するものであり、対象者の雇用促進に資するものである。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果実績から実効性の高い手段となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	トライアル終了後の常用就職移行率の割合について、目標設定し目標を達成している。
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績に見合った予算とする。
	△	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 試行雇用奨励金(若年者等)他職業安定局・厚生労働省	対象者(季節労働者、若年者等)ごとの要件により実施してきたところであるが、制度の整理・統合の見直しを行うところ。
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>上記点検結果を踏まえ、試行雇用奨励金制度の見直しを行う。          なお、試行雇用奨励金については、平成25年度より奨励金の整理・統合の観点から、障害者トライアルを除き、一本化することとしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>試行雇用奨励金(季節労働者)は、重複排除のため事業の優先度(効率性)を勘案し重点化すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	<p>23年度第4四半期の試行雇用(季節労働者)開始者については、24年度の試行雇用奨励金支給対象者となるため、23年度については試行雇用を開始したものの、当該年度に支給にまで至らなかった者が存在したため執行額が低調となっている。25年度概算要求については、23年度の試行雇用(季節労働者)開始者数が増となったことを踏まえ、維持とした。          なお、奨励金の整理・統合の観点から、平成25年度より試行雇用奨励金を一本化(※障害者トライアルを除く)することとしている。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>関連する過去のレビューシートの事業番号</p>			

平成22年行政事業レビュー	711	平成23年行政事業レビュー	0646
---------------	-----	---------------	------

【国】

厚生労働省  
0.2百万円  
制度設計等

【予算示達】

道労働局(1労働局)  
0.2百万円  
助成金の支給決定等

【助成】

A.事業主  
0.2百万円(2人)  
季節労働者の雇用の  
促進・維持等に活用

試行雇用奨励金(季節労働者)

( 季節労働者の試行雇用を実施し  
た事業主に対して奨励金を支給 )

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.事業主			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
助成金		0.2			
計		0.2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					